



は せ が わ さ と こ
長谷川 理子 さん

●プロフィール

45歳。愛知県名古屋市出身。武蔵野音楽大学声楽科を卒業後、名古屋市内の高校でソルフェージュを教えるかわら音楽教室でリトミックを用いた音楽教育に携わる。38歳の時、リトミックの国際免許を取得するためにスイス・ジュネーブへ留学。その後、より深く音楽を学びたいとコンセルヴァトワール(音楽院)に入学、中世音楽を学ぶ。楽理科でマスター取得。昨年8月、アフリカで医療に従事していた夫の転勤に合わせて対馬へ転居。中学生の息子2人の母でもある。上対馬町大浦在住。

ソルフェージュ…音楽の基礎的訓練の総称
リトミック…音楽を体で体験し、想像力や表現力を養う総合教育

○ジュネーブでの生活はいかがでしたか？

日本でフランス語を学ばずに留学したのですが、ジュネーブには国際機関も多く、人口の約40%が外国人ということもあり外国人への対応が豊かでした。息子が二人おりますが、ジュネーブに転居した当時は小学生と幼稚園児。公立の学校に通いながら日本語補習校にも通いました。子どもの順応性は素晴らしいですね。私は言いたいことが何とか伝わるといった程度のフランス語しか話せるようになりませんでした。息子たちは兄弟同士ならフランス語で会話します。私のフランス語はダメだそうです(苦笑)。

○久しぶりの日本、対馬での生活は？

二人の学校生活のことが気にはなっていました。いろいろ配慮いただきました。でもそれ以上に、対馬の子ども達に本当に助けてもらいました。現在はバレーボール部で活動しています。ジュネーブの学校と比べて日本の学校は忙しいですね！土日も部活動があるのに驚きました。私も地元の方に野菜の育て方や地域のことを教えていた

だいているところです。

○対馬で興味を持ったことは？

留学中に中世音楽の文献の研究をしたのですが、論文を書くにあたって先生から「日本のことを何かテーマにしたら？」と勧められました。良い機会だと思い、自分でも全く未知の領域だった雅楽を選んだのですが、そのことで日本の中世の歴史にも興味を持ちました。対馬に来てみると、古代から近世までの歴史が色濃く残っていて、特に10世紀より前の時代のものに魅力を感じています。対馬の山々、自然の素晴らしさもまた魅力です。スイスの豊かな自然にも大いに感激しましたが、対馬のそれは全く違う印象で。山々の色合いの中に私たちに寄り添って来るような精霊の存在を感じたんです。対馬には社や鳥居が多いですよ。万物に宿る精霊を崇拜対象とするアニミズムや自然崇拜、神道が息づく土地だと思いました。信仰と音楽は結びつきが強いので、興味深いです。伝統芸能などの奥義や秘伝を口伝に教える「口伝」にも興味があるので、対馬の民謡も興味深いですね。

○対馬の魅力とは？

対馬の自然や、住んでいる人たちの人柄だと思います。それは、対馬が島であるということに関係があるのではないかと思います。対馬の人たちは島という立地環境の中、教養深く、誇りを保ちつつ、古いものを守ってきたと感じています。

○長谷川さんにとって対馬は興味津々の場所のようですね。

本当に(笑)。まだ対馬という1ページを開けたばかりですが、知りたいことや知りたいたいが山積みです。対馬の気候、特に冬の風の強さにびっくりしましたが、自然の厳しさにも楽しさを感じながら、師匠と呼ばせていただいている地元の方に野菜の育て方を教わったり、庭の花も充実させたりしたいです。文化に関してたくさん知りたいので、母親業としては大事な時期でもあるので、バランスを取りながら徐々にページを進めたいです。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いただくこのコーナー。次回は上対馬町鰐浦にお住まいの小島智子さんです。お楽しみに。